

じやりみち

第2号 発行日 1995. 9.14

仮設支援連絡会

阪神大震災地元NGO救援連絡会議

TEL: 078-362-5951 / FAX: 078-362-5957

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

……仮設支援情報……

♡全体会のお知らせ♡ 人・物・金作戦いよいよ開始!

9月6日に行われた全体会の中で仮設支援連絡会全体で何かイベントを行いたい、という案が出ました。これは仮設支援連絡会設立当初から提案されていたもので、今後いかに人・物・金を集めていくか?ということを柱に、実行委員を次回の全体会で募りたいと思います。これから作っていきたいと思っていますので、ぜひぜひひとも全体会に参加をお願いします。今のところの案としては、仮設内のバザーキャラバン、全国アピール講演etc. いろいろなアイデアを募集します。(切実なお願い) ちなみに10月4日に懇親会をひらきたいと思います。くわしいことは次回の全体会で。お楽しみに!

< 仮設は今... >

◇西区・学園東町第2仮設◇

私達は5月以降、週1回の訪問をしています。第2仮設の戸数は84戸。訪問当初は、クーラーがない、整地がされていない、街灯がない等気がつく点がありましたが、訪問の度、不備な点が解消されていて、また当仮設の施工業者であるナショナル住宅が巡回訪問し、各戸の不備な箇所の修理されたと聞いて「これで入居者の方々が、なんとか夏を迎えるのでは...」と感じました。(6月末頃)

設備面での心配がクリアされると、次には、どこのボランティア団体が訪問に来ているのだろうと考えました。第1回目の訪問時に、コープボランティアの方にお会いしただけで、今まで他のボランティア団体の活動が不明でしたが、仮設支援連絡会を通じて情報を得ることができました。避難所を訪問時に体験した(または聞いた)ことですが、「同じ日にいろんなボランティアが来て、同じ事を聞くので疲れた。」と言われた被災者が多かったので、重複を避ける為には、情報が必要だと思ったからです。現在は、私達が週1回訪問している他、不定期に各団体がイベントを企画して、入居者同士の交流に努められています。

ふれあいセンターについては、第2仮設と第4仮設の間にある、学園東町地域福祉センターがその役割を担うのではと思われまふ。というのも、第4仮設に7月に自治会ができたということから、第2仮設に入居している方々の中でも「私らも、ゆるやかな形で自治会がいるのでは...」という意見が出、ミーティングを開いたのがこのセンターだったからです。現在、第2仮設において4名ほどの方が選ばれ、活動されているそうです。

最近訪問した時に「あれっこの仮設は雰囲気は素敵になったな!」と思ったのは、その自治会の方々が、各棟の通路の中央に何種類かの花のプランターを設置されたのと、仮設内の数カ所に木製のベンチを用意されたからです。前回に訪問した時より、更に生活のにおいがする住宅になりつつあると感じました。これからの問題点をあげれば、この仮設は高齢者が多いので、生活に慣れて、当初の精神的緊張がほぐれた現在、体の弱い箇所に不調を訴える者が増えつつあります。また、震災当初には顕著でなかった被災者の経済的格差が、仮設入居者に重くのしかかっているように感じられます。これから仮設住宅の訪問を継続するに当たって、多方面の方々に助言を受けて、対処していきたいと思ひます。

(神戸心のネットワーク・岡 奈津子)

情報コーナー

★東加古川団地で自治会結成

前回「仮設は今」で取り上げた1000戸の大規模仮設住宅東加古川団地で自治会が結成。さる9月10日(日)に「いなみ野学園」で仮設入居者、地域住民、ボランティア行政の方々が集まり結成パーティーが開かれました。

EVENT 情報♪

★本多聞仮設でお茶会します

どなたでもお気軽にどうぞ! 毎水曜日 10時~12時
問合先: グループ・アバウト TEL 078-785-0565 (進藤)

★週末ボランティア 9月16日 鷹取住宅 他

14時JR鷹取駅集合 詳しくは TEL795-6499東條まで

~熊ひーのあんぱん方式~

各仮設で自治会作が急がれているようだが、立ち上がりが非常に難しく、いろいろなトラブルが発生してる。そこで東灘助け合いネットワークの協議会制を紹介。

東灘助け合いネットワークの入る仮設住宅は65歳上、独居老人が多く、台風対策のための講習会を行っても実際取付けられる人がいない。これでは自立といってもかなりムリがある。そういう中で考えたのが、「あんぱん方式」あんこが仮設としたら、ころもは周辺。世話人会の代表が議長になり、そのサポートに民生委員、友愛訪問の代表、そして周辺自治会というぐあいにする。一番いいのはこの周辺自治会が協議会にはいること。何かあったときに周りの若い者が走ってこれるからで、これらを効率よくすすめるにはまずは地域とのコミュニケーション作が必要。

またふれあいセンターについても運営委員会の中に住民民生、周辺自治会を入れていくほうがうまくいきやすい。

あくまでボランティアは黒子に徹し、そして自治会の立上りを急がないほうが大切

(東灘助け合いネットワーク 殿本氏より)

☆学習会のお知らせ☆

去る9月12日(火)に、クリスタルタワー内交流サロンに於いて行政の方々を招いての第2回学習会が開かれました。連絡会体制の組み替えにより大幅に期日が遅くなった為、予め提出していた質問書の内容も現在改善されつつある状況でした。学習会は今回で終了しましたが、今後お互いに良い関係を...と、確認しました。

